

2015年国民平和大行進 福島から栃木へ

六月二八日、国民平和大行進が、福島県から栃木県へ引き継がれました。午後二時から、那須町の夕狩り公民館敷地で、八十余名の参加で行われました。はじめに、地元の人たちの歌声でオープニング。福島の実行委員長のあいさつ、福島を通し行進してきた女性が経過報告、リレー旗の引き渡しをおこないました。

栃木県の平和大行進の天谷静雄実行委員長は、「今年開かれたNPT再検討会議で、わずかな核保有国の反対で最終文書はまとまらなかったが、核廃絶の声は、大きく広がっている。安倍首相は、大きなダム宣言を『つまびらかに読まない』と国会で発言したが、そのポツダム宣言の受諾を当時の支配者が、引き延ばしたため、広島・長崎の悲劇となった。



いま、多くの国民が反対の声を上げていく『戦争法案』の阻止と、八月に開かれる、広島・長崎世界大会の成功と、県内の平和大行進をがんばりましょう」と、あいさつしました。

午後三時から、那須町で平和大行進が開始されました。この日は、那須町で自転車ロードレース開催のため、コースをいつもの那須町役場から伊王野支所からに変更し、三十人以上の参加者で「核兵器はいらない」と、訴えながら町の中を行進しました。

「原爆の残り火」を先頭に、宇都宮から引継ぎに来た人や天谷実行委員長も那須町を元気に行進し、栃木県内の行進がスタートしました。



今年も「原爆の残り火」の分灯式

さくら市の東輪寺で、「原爆の残り火」の分灯式が行われました。

檀家さんや御詠歌を引き継いでいる女性たち、県内から集まった人たちなど50人が参加しました

15年前に住職さんが、宇都宮で「原爆の残り火」の分灯を受け、同寺で灯しつづけています。平和大行進実行委員会への分灯は今年で11年目になります。



住職さんが作詞された「原爆の残り火灯す医王山 平和の願い我も祈らん」(2,3番につづく)など、平和への思いを込めた御詠歌が歌われました。

また、地元で戦争体験を語りつづけている秋元武夫さん(91歳)も参加され、平和の思いをお話ししてくれました。秋元さんはシベリヤに抑留されて、過酷な体験をされ、帰国されました。その後、教員を退職し戦争体験の語り部として、頑張っておられます。

この日は、09年NHKで放映された「沖縄慰霊の日特集 集団自決・戦後64年の告白・2人の苦悩」の証言を詞にしたものを語ってくれました。

芳賀原水協 学習会を開く

6月21日芳賀原水協は、平和行進、世界大会に向けて、学習会を開きました。講師の県代表委員の斎藤洋三さんから、ニューヨークで4月に開催されたNPT再検討会議の報告や、今年の世界大会のパンフを使って、学習・討論が行われました。

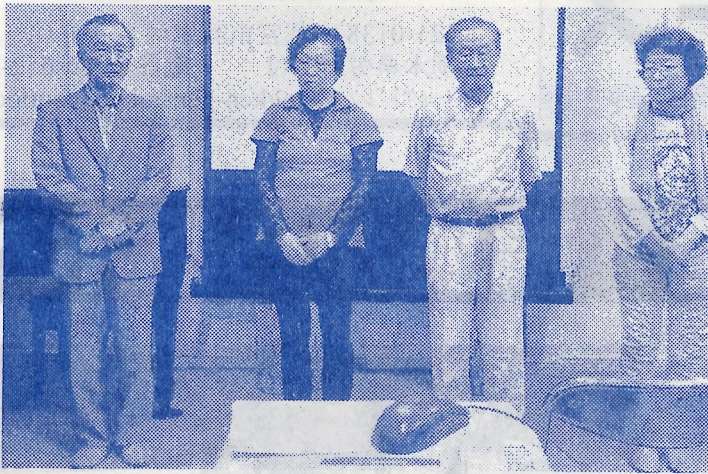
「戦争法案」の話になり、「70年前の戦争では、食料がなく、餓死で亡くなった」「戦争はダメだ」などの論議になりました。

今年の平和行進の成功と8月の世界大会に広島に2人、長崎に1人の代表を送るため、募金を集めようと話し合われました。

6・9署名活動 各地で奮闘

6月6日、9日は、「核廃絶署名」を取り組みました。宇都宮原水協、新日本婦人の会の人たちは、宇都宮市内で行いました。新婦人の人たちは、高校生に署名を訴えながら、18歳から選挙ができるようになったことや、「戦争法案」の話をするなど、若い人たちに積極的に声をかけました。

また、県北では、NPTに参加した人たちが、「5年後に向けてこのままではいけない」、「署名活動をもっと頑張る」、各自自治体で6・9行動を起こそう、「大変な所へは、応援をしよう」と。太田原市ではさつそく6・9行動をやるうときめました。



NPT再検討会議ニューヨーク行動の報告会

6月27日、佐野市報告会を行いました。県南からの4名の参加者が熱い感動的な報告をしてくれました。たくさんのスライド写真を見ながらの報告会でしたので、2時間余が大変リアルでわかりやすく、20人の報告会参加者も納得でした。

(NPT再検討会議参加者の報告から)

ニューヨークの街頭の署名活動では、片言の英語で何とか署名をもらえました。この貴重な成果や喜びは特別です。出発前に自分たちも集め、また全国の仲間の草の根の運動で集めた6,336,205筆の署名の重さがようやくわかりました。

私たちのこうした行動に対して国連事務総長は「全面的な支持のメッセージ」を、国連軍縮担当者上級代表からは、「署名を受けとることができて光栄です」とのあいさつがありました。

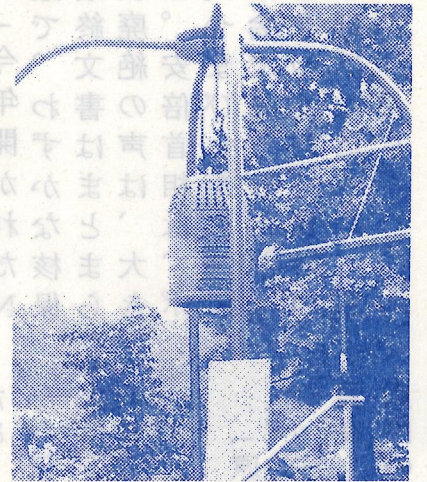
半日だけの自由行動で国連本部へ行くと、正面玄関ロビーで「原爆と人間展」が催されていました。そこで日本からきた被爆者が体験を語っていました。支持者の力を借りて世界中に被爆遊説にかけるとのこと。お会いでき貴重な体験をしました。

また、メーデーの発祥地のカナダに移動し、最初の行動を起こした労働者が処刑されたこと、その犠牲者の墓を詣でることができました。さらに平和運動の交流会があり、イラク戦争に反対する帰還兵の会の青年の話には、ショックを受けました。

アメリカでは、1日平均22人の退役軍人がPTSD（心的外傷後ストレス障害）などで自殺し、麻薬にはしる人や職に就けない人も多くいて、大きな社会問題になっているそうです。

みんなで鳴らそう 被爆70年 「平和の鐘」

ご参加ください



さくら市の東輪寺に平和の鐘を建設して8年、昨年にひきつづき「平和の鐘」をつく集いにみなさんの参加をお待ちしています。

日時 2015年8月6日（木）
午前8時から11時まで
ところ さくら市東輪寺

さくら市鹿子畑1117 電話 0286 - 85 - 3836

8月の原水爆禁止世界大会



宝田明さん

原水爆禁止2015年世界大会（主催・実行委員会）が被爆地・広島と長崎で8月2日から9日まで開かれます。俳優の宝田明さんが被爆70年の節目の世界大会に初めて参加して連帯あいさつをするこ

とが24日までに、わかりました。宝田さんがあいさつするのは、世界大会・広島開会総会（4日、広島県立総合体育館グリーンアリーナ）です。1934年中国東北部（旧満州）生まれの宝田さん。54年10月に、水爆実験で生まれ

俳優 宝田明さんあいさつ

2015年原水爆禁止世界大会にご参加を

被爆70年の今年の世界大会は、8月2～9日まで開催されます。

8月2～4日 国際会議（広島）

8月4～6日 広島大会（広島）

8月7～9日 長崎大会（長崎）

4日 俳優の宝田明さんがあいさつします

6日 歌手のクミコさんが出演します